

経営比較分析表（令和元年度決算）

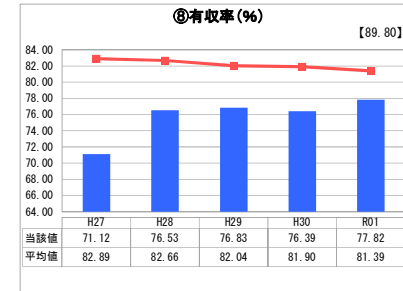
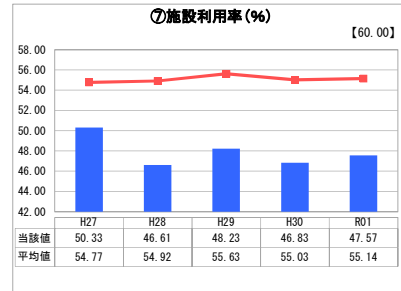
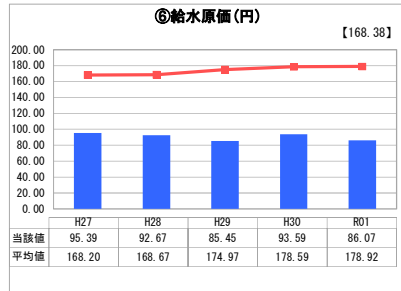
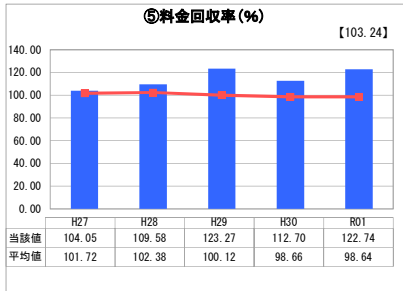
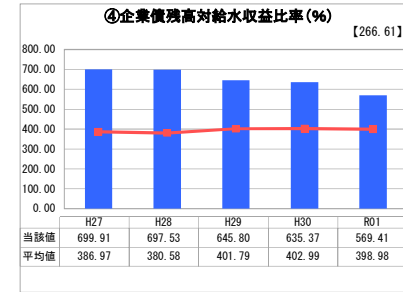
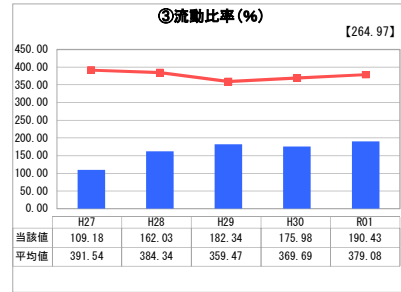
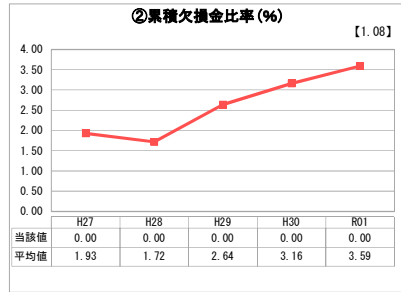
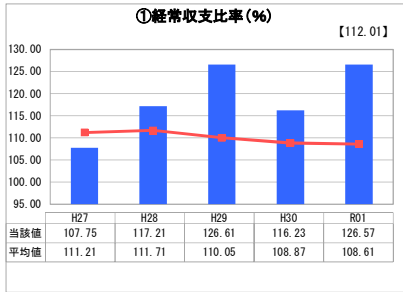
神奈川県 湯河原町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)	
-	47.81	94.16	1,775	

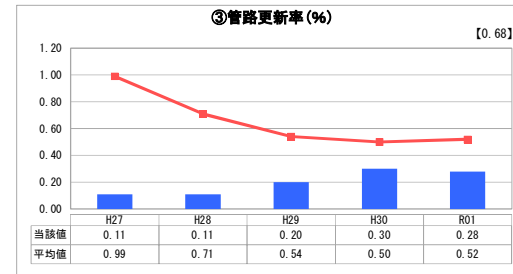
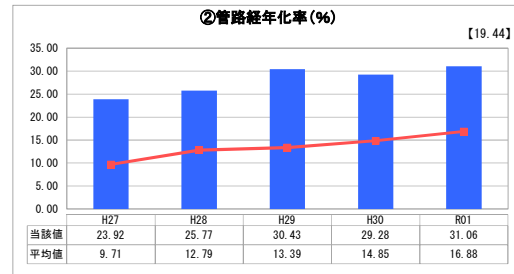
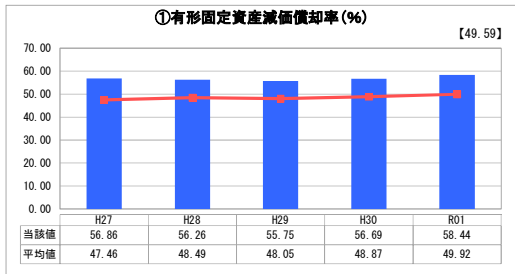
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
24,803	40.97	605.39
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
23,198	7.40	3,134.86

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率100%以上、累積欠損金比率0%、流動比率100%以上ですが、企業債残高対給水収益比率は類似団体内で高い水準に、料金回収率は100%を上回る水準となっております。現時点での指標では投資規模が高いですが、比較的健全な経営といえます。

決算状況を経年比較すると、企業債償還金が増加傾向にあり、現金の減少傾向が見られることから、近い将来、厳しい経営状況に推移していくことが予想されます。

また、施設利用率及び有収率が低いことから、引き続き漏水対策などを行い、有収率の向上を図るとともに、施設規模の見直しを検討する必要があります。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率、管路経年率が類似団体内で高い水準になっている一方、管路更新率が類似団体内で低くなっていることから、施設の老朽化が進んでおり、必要な更新が進んでいないことが分析されます。

老朽化対策が急務な管路を抽出し、その他施設の更新等については施設利用率も考慮し、「湯河原町水道ビジョン・経営戦略」に基づき計画的に実施する必要があります。

全体総括

近い将来、人口減少による水需要の低下により、厳しい経営状況に推移することが予想されることや、施設の老朽化が進んでいる状況を踏まえ、今後は「湯河原町水道ビジョン・経営戦略」を基に、水道料金の改定、投資計画の推進など、事業経営の効率化と財政基盤の強化を図ってまいります。

また、企業債残高対給水収益比率は改善傾向にあるものの、依然として類似団体と比べて高い状況を踏まえ、料金水準、設備投資などを慎重に検討していきます。